

2つの調査票の特徴

逐次入力型

→逐次入力型の
概要説明はこちら

ダイアリー型

→ダイアリー型の
概要説明はこちら

コンセプト

比較的、入力が容易な目的地に関する詳細情報(時間、場所、目的)を順番に※全て入力してから、後で移動手段に関する情報を入力する。
※挿入も可能

手帳にスケジュールを記入する要領で最初に「自宅」、「仕事」などの用件を入力し、その後で、目的地に関する詳細情報を入力する。

入力手順

step1

- ①初めにいた場所、外出の有無を入力
- ②目的地の詳細情報(目的、施設種類等)を入力

step2

- 出発・到着時間、交通手段、所要時間、乗換地点等を入力

step1

- ①対象日の用件とその場所・時刻を入力

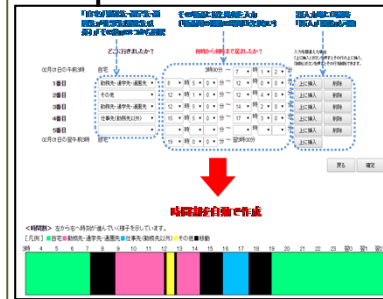
step2

- ①用件の場所を入力
- ②用件と用件の間の移動手段を入力

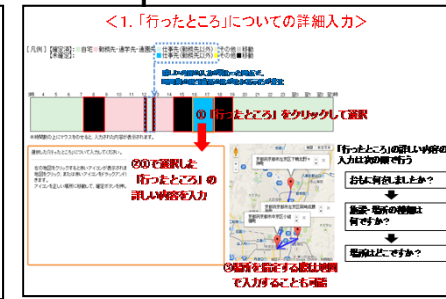
入力画面イメージ



step1



step2



共通する特徴

- ・目的地の場所に関する情報は地図上で入力可能
- ・作業を途中で中断可能(保存機能)
- ・最終トリップが帰宅でない場合のアラート、論理チェック機能の実装

(調査質問票の入力体験について)

交通政策に関する学識経験者、自治体職員、コンサルタントの方々等※は、
「WEBインターフェースを用いたパーソントリップ調査票」の入力体験をして頂くことができます。

→詳細はこちら

※パーソントリップ調査に関連する委員会委員又は、パーソントリップ調査を実施したことのある自治体もしくは今後実施する予定のある自治体、過去にパーソントリップ調査のデータ整理、分析等を行ったことのあるコンサルタント等。